

報道機関 各位

## 「海士の舟小屋プロジェクト」 進行中！

舟小屋を伝統的な方法で復元建設

### ◆本件のポイント！

- ・海士町で「舟小屋を伝統的な方法で復元建設し、観光資源にする」プロジェクトが進行中
- ・本学総合理工学部の学生・教員が協力

### ◆本件の概要

島根大学 総合理工学部 建築デザイン学科の学生・教員が「海士の舟小屋プロジェクト」に協力し、海士町北部の宇受賀(うずか)集落において、舟小屋の復元建設に取り組んでいます。

#### 「海士の舟小屋プロジェクト」について

海士町の「海の士(ひと)を育む会」の立案により、島根大学・海士町・島外からの体験居住者・海士町の住民が連携しながら、舟小屋を1棟、復元建設するプロジェクト。

建材は地域の自然素材を使用し、伝統的な構法にこだわり、すべて自力建設とする。

完成後は、住民が利用できる施設として、また、観光資源として活用していくことを検討する。

舟小屋…小型の木造船を収納する建物。

日本海沿岸には多く見られたが、現在は減少。隠岐諸島では隠岐の島町の「屋那の松原・舟小屋群」が観光地として有名だが、これは伝統的な構造ではなく、新しい技術で新築されたもの。

本プロジェクトは令和5年3月に開始し、本学学生・教員は現存する舟小屋の実測調査や建設作業の企画、復元のための設計・施行指導を担当しています。

現在は、海士町の住民の方々に提供いただいた自然素材を使って、地域の皆さんと一緒に建設を進めています。

ぜひ、本プロジェクトについてご取材いただければ幸いです。

### ◆概要内容

以下の日程で、建設作業を行います。

【日時】令和5年9月21日(木)～9月25日(月) 9:00～17:00 (天候により調整)

【場所】隠岐郡海士町宇受賀集落 北東の湾内(海士町漁業協同組合 宇受賀出張所 周辺)

【作業内容】・小屋組(屋根部分の骨組み)の設置

・石置き屋根(杉皮を葺いて、その上に抑えの石を載せる)の施工

### ◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

島根大学 総合理工学部 建築デザイン学科 准教授 小林 久高(こばやし ひさたか)

TEL 0852-32-6566

Mail hisakoba[at]riko.shimane-u.ac.jp